

外国語活動、外国語（英語）


令和6年度 授業改善のポイント

- 1 自校の年間指導計画やCAN-DOリスト形式の学習到達目標に基づき、単元を通して重点的に指導する領域（記録に残す評価をする領域）を精選した上で、単元を構想する。
- 2 言語活動を行う際は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確に設定する。
- 3 言語活動の途中で、児童生徒の学習状況を基に、言語面（言語材料について）の指導と内容面（コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた内容について）の指導を行う。

言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくり

【指導事例】 This is me! (小学校第6学年)

Point 1 重点指導領域を明確にした単元構想

 この単元で話すこと〔発表〕と書くことを重点的に指導するために、自己紹介し合う活動から自己紹介ポスターを作る活動につなげよう。（音声から文字への指導）

単元で行う主な言語活動（全8時間）

第1時	教師の自己紹介を聞く
第2・3時	得意なことなどを紹介する
第4～6時	自己紹介をする
第7・8時	自己紹介文を書く

重要 教科書にある活動を行う際は、単元終末の言語活動とのつながりを踏まえて活動を精選し、指導の焦点化を図ることが大切です。

Point 2 児童生徒の意欲を引き出す言語活動の設定


互いのことをよく知っている児童同士が自己紹介をするのは、コミュニケーションを行う必然性に欠けるから、何か工夫が必要だな。

【第4～6時の学習のめあて】

自分の意外な一面を知ってもらえるように、自己紹介をしよう。


重要 言語活動を行う際は、児童生徒が伝える内容と使う表現を自分で考え、言語活動に意欲的に取り組むことができるよう、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確に設定することが大切です。

Point 3 児童生徒の学習状況を基にした言語面の指導【第4時 1回目の言語活動の後】

 何か困ったことはありませんでしたか。

「けん玉ができる」と言いたかったけれど、I can *kendama*. で合っていますか。

何か足りないような気がします。

 canは5年生で学習した表現ですね。

デジタル教科書で確認してみます。

ICT 学習者用デジタル教科書の活用

言語材料について理解したり練習したりする際に、音声読み上げ機能やモデル動画を活用することで、児童生徒が使いたい表現を個別に確認し、発話に生かすことができます。


児童生徒が自らの学習状況に応じて必要性を判断し、主体的に活用できるように促すことも大切です。

→言語活動と指導を複数回行った後、発表動画を撮影して提出


ICT 発表動画の活用①【第4時終了後】

提出された動画を確認することで、個の学習状況を確実に見取うことができます。全体で共有したい発話を吟味し、次の指導に生かすこともできます。


Point 3 児童生徒の学習状況を基にした内容面の指導【第5時 前時の発表動画の視聴後】

 今視聴した発表のどんなところがよかったですか。

好きなことの後にIt's fun.と理由を付けていたのがよかったです。

 理由があると、自分のことがもっとよく伝わりますね。ところで、自己紹介をする目的は何でしたか。

（本時のめあてを見て）
自分の意外な一面を知ってもらおうためです。

 では、撮影した自分の動画を見て、自分の意外な一面を知ってもらえるような内容になっているか、どのような内容を伝えたらよいか、考えましょう。

ICT 発表動画の活用②

友達や自分の発話の様子を視聴することで、児童生徒が改善の視点に気づき、伝える内容を再構成できるように促します。

動画を児童生徒間で共有すると、児童生徒が自分で動画を選んで視聴したり、必要に応じて繰り返し視聴したりして、自分の発話に生かすこともできます。